

★県政刷新★情報開示★

市民相談は090-3867-8200(奥田寛まで) 橿原市今井町2-5-2



前橿原市議会議員・市民相談歴21年
政策研究ネットワーク「なら・未来」代表

奥田 寛 (おくだ ひろし) 51歳

権力者が自分から教えてくれない情報を、市民と共有します。

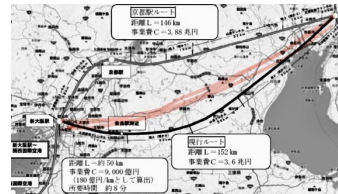
決して一方的な批判ではなく、建設的に解決の道を探りましょう。

★年420億円と言われるリニア新駅の県内経済効果が、山下知事がリニアの残土処理を手伝わない方向に舵とりしているため、1/2に減る可能性が高くなっています。

新駅の位置が、八条でも郡山でもなく、京都府との境にある平城山駅になると、東京方面から奈良に来訪するお客さんの落とすお金の半分は、京都府下に行くことになるためです。

五條市防災拠点の2000m滑走路建設のためには、谷を埋立てのための土が必要でしたが、リニアのトンネル残土をこれに用いないとすると、JR東海は、県南部方向に駅を設置して、大阪へのルートが曲線化することによる延長経費(236/km)の負担が苦しいため、自動的に直線に近い京都南部方面を選択せざるを得なくなるのです。

県内の市町村のほとんどは、近鉄の使える郡山を希望してきましたが、山下知事は、自分がりニアの残土処理をやめたことを棚に上げて、駅の位置はJRが決めることと素知らぬ顔。駅位置ごとの経済効果算定を拒否しました。



京都市資料に手を加えた。奈良駅より平城山駅ルート(赤線)の方が直線的。

奥田寛HPに
詳細報告



★何度も市議たちが連絡しているのに、なぜか解決しない県有地と市有地の不法占有があります。



(A) 葛城川支流の住吉川河川敷(県管理地)に階段と個人用ゴミ焼却炉、蜂の巣箱のようなものが多数設置されていましたが、市民相談を受けた奥田寛が県に通報してから、二年半の間、何の対応もされていなかったことが分かりました。

(B) 実は、この隣には橿原市の土地782㎡(236坪)があり、家が増築され、車庫が作られ、少なくとも三十年以上、不法占有が続いていたのです。市の土地を飛び越えて(A)が為されたとは考えにくいことから、まずは市に対して二年半の不法行為について監査請求したところ、市長に是正勧告が出されました。しかしながら、土地の立ち退きも求めず、土地の使用料を徴収しないことも問題ないという、真面目な市民をバカにしたような監査結果だったため、住民訴訟を準備中です。

(C) 同じことは、日本遺産・飛鳥川でも起こっていました。洪水ハザードマップにより、「家屋倒壊等氾濫想定区域」(鍵型部分が不法占有地)指定された河川敷が不法占有されています。ここに建物があることを、奥田寛は県に十年前に指摘していましたが、口頭指導があったきり。何ら改善されないままに、追加の埋立てで1580㎡(478坪)にまで占有面積が増えているため、県議を通じて連絡、それでも口頭指導しかせず、三か月待っても動きがないと判断、県に住民監査請求を行っています



(B)(C) いずれの事例にも、残念なことに、元市議の親族らが関わっているという話があります。監査結果もひどいものでした。議会選出監査委員も不要。外部的な監査制度を求めていきます。

保育士も不足、高齢者や障害者、妊婦等のタクシー初乗りチケット補助も実現していないのに、公共の土地の不法占有者から使用料をとらなくていいというのは、お金の使い方を間違えています。

★ 檜原市には、保育所・園への入所を希望していて入れない潜在的及び国待機児童が242人もいます。これは、令和6年9月時点の数字ですが、調べてみると、**昨年も一昨年も似たようなもので、中には300人を超えている月さえありました。**

子育て支援を訴えて当選した政治家が多数いたはずなのですが、なぜこういうことになっているのでしょうか？ 山下知事は、奈良県は保育事業所の数が少ないと主張していましたが、**根本的な問題を見誤っていると思います。**檜原市でも、既存の私立で減った入所定員を新たな事業所を作ることでカバーしようとしていますが、残念ながら、まったく追いついていません。

足りないのは施設の面積ではなく、保育士の人数です。大阪に負けなくらい保育士を雇おうと思ったら正規職員の賃上げ競争では対抗できません。非正規職員を多数雇う必要があると思います。檜原市も私立園に対して保育士賃金の補助を初めていますが、足りないのでしょうか。

北海道は国待機と潜在的待機の両方の数を取りまとめて、発表しています。奈良県ではそれが行われていないため、検索しても国待機の、びっくりするほど少ない数字しか出てきません。檜原市では、申請書の入所希望施設の五つの欄を全部埋めないと国待機になりませんが、それは2人だけで、残り240人は潜在的待機という扱いなのです。そのうちの一人は、うちの子です。**遠すぎる場所を希望欄に書けないのは当然です。県に対して、潜在的待機児童数の公表と市町村への補助を求め、待機児童を解消、0,1,2歳全員への月々の育児手当を実施、実質的な保育無料化をはかります。**

~~~~~



★ 山下知事は、三宅町石見地区で計画されていた県立工科大学の計画を撤回し、100人規模の学生寮と、その勤め先となる企業を設置する考えのようです。**海外からの受入れというニュアンスがイラストなどから感じられるものの、あまり真正面からうたわれておらず、想定される外国人割合を県は公表していません。**

荒井知事が構想した計画は、大学院を先行させて、博士課程の人材を養成するというハイレベル志向でしたが、今の計画では高校生や短大生らも含んでおり、レベルが担保されるのか疑問です。

この計画が、本当に「起業」を実現するものなのか、**低賃金で外国人労働者を単純労働に使おうとする企業を、県が支援するような残念な話になったりはしないのか、厳しく見つめていかねばならないと思っています。**

檜原市で、私自身が何度も公約に掲げてきた住民投票条例がようやく実現しそうになった時に、私は外国人の投票権を明記することに反対しました。実務として、従来から有する選挙人名簿に追加して外国人投票者名簿を作成、多種多様な言語で投票権をプッシュ型で通知することは膨大な事務となり、不可能と判断したからです。また、私は、妻が外国人なのですが、本国への在外投票を行っている様子などを見ていると、外国人に日本での参政権が、必ずしも必要だとは思いません。

檜原市でも外国人が増えてきたようで、最近、私の方に、外国人の個別の相談が寄せられるケースも出てきました。**外国人と日本人の間の問題を、穏便に解決出来る人材を育成する必要があります。**同時に、低賃金の外国人労働者の急激な増加には、断固反対します。

安く労働を引き受ける人材を外部から入れることにより、非正規の最低賃金の上昇にブレーキがかかることを危惧します。保育士・介護士・看護師・教師等の増員や賃金上昇を求めています。

★不動産会社社長から、常に渋滞している24号線と中和幹線の葛本交差点に、**道路用地があるのに、駐車場として民間に貸したままになっているのはもったいないと教えて頂き、森山賀文県議と市役所に一報を入れさせて頂きました。**県・市職員さんらが動いて下さり、**マクドナルドと2ndストリートの前の、東からの進入を四車線化することが出来ました。**心より感謝申し上げます。★檜原市議会議員を17年4ヶ月させて頂けたおかげで、落選中の今も、市民相談が舞い込んできます。市有地の不法占有は、過去にも別の市議が相談を受けていた案件でした。市民の頼る「最後の駆け込み寺」になれているなら本望です。



グーグルマップ。2ndストリートになる前の建材業者に貸していた土地を左折専用車線に。